

あっぱれ! 100歳

ご長寿おめでとございます



お祝いの言葉に笑顔で答える八幡チヨさん(右)

八幡チヨさん (山形町) 笑顔で皆に感謝

9月3日、山形町の八幡チヨさんが100歳を迎え、家族ら約20人が自宅に集まり長寿を祝いました。
山内隆文市長は、お祝い状と祝い金をチヨさんに手渡し「これからも家族の中心に笑顔でいてください」と一層の長寿を願いました。
チヨさんは「皆さんありがとう」と満面の笑みで家族に感謝の気持ちを伝えました。



手話体験をする来場者

ふれあい福祉まつり 多彩なイベント 来場者も満足

9月8日、福祉の村でふれあい福祉まつり(同実行委員会主催)が開催。毎回好評の福祉バザーのほか、手話や点字などの体験コーナーやステージ発表などイベントが盛りだくさんの会場を市民など約1,800人が訪れました。
家族と来場した石崎悦子さん(長内町)は「バザーでお皿を安く買うことができました」と満足した様子でした。

NEWS 金メダリストが長内小で特別授業 楽しむ心と仲間を大切に



エピソードを話す瀧本誠さん(右)

8月30日、「スポーツ笑顔の教室」(日本体育協会など主催)が長内小学校(小原昭徳校長)で開催。シドニーオリンピック柔道金メダリストの瀧本誠さんが同校の5年生39人に特別授業を行いました。授業の前半は体育館で、鬼ごっこや体育用のマットを自分の陣地に運ぶゲームなどを行い、交流を深めました。

後半は教室で、柔道を始めたきっかけや、周りから大きな期待をかけられ続け疲れ果てたことなどのエピソードを語った瀧本さん。共に柔道をしてきた同級生の励ましがオリンピック出場につながったことを例に挙げて、「仲間を大事にすること、何事も楽しむ心を大切にしてほしい」と児童たちに呼び掛けました。大尻遼くんは「苦労した話のためにになりました。サッカー選手を目指して、先生のよう頑張ろうと思えました」と話し、夢に向かって決意を新たにしました。
同教室は、復興支援として被災地の小学校を対象に開催されています。瀧本さんの授業は29日、久慈湊小学校でも行われました。

NEWS 第51回三船十段杯争奪柔道大会と柔道教室開催 伝統の大会に県内外から集結



参加者の手を取り、指導する平岡拓晃さん(右)

第51回三船十段杯争奪柔道大会に先立ち、同柔道教室が9月7日に市民体育館で開催。ロンドンオリンピック柔道60kg級銀メダリストの平岡拓晃さんらを講師に迎え行われた柔道教室には、県内外から約300人の小・中学生が参加しました。
背負い投げを中心に行われた指導会では、引き手や足の運びなどを平岡さんが順を追って丁寧に解説。実技ではしっかりと組み合せて指導する平岡さんに、子どもたちは積極的に質問していました。
参加した佐藤暖心さん(長内小5年)は「投げる時の目の動きなど、普段は気付かない重要な部分を教えてもら

りました」と平岡さんの指導を受け、技の完成度を高めた様子でした。
また翌8日には同柔道大会が同会場で開催され、県内外から約660人が参加し、熱戦を繰り広げました。応援の声が響く試合会場では、技が決まるたびに仲間や観客席からも拍手が起きました。
本市から参加した選手の成績は次のとおり。(敬称略)
【団体】▼中学校男子の部3位：長内中学校▼一般の部2位：市柔道協会▼中学校女子の部3位：長内中学校▼高校生以上女子の部優勝：久慈高等学校
【個人】▼高校生以上男子の部3位：延足武



選手たちの気迫を感じる試合が展開されました

NEWS 市・岩手大学地域連携フォーラムが開催 復興の取り組みなど報告



発表する岩手大学大学院の堀本史恵さん

8月28日、市内の催事場で「久慈市・岩手大学地域連携フォーラム2013」(市・岩手大学主催)が行われ、高校生を含む市民約140人が参加。震災復興に向けた同大学の取り組みや、産学官連携による活動の紹介、最新の事例報告が行われました。
市役所内に設置されている同大学三陸復興推進機構久慈

エクステンションセンターの川尻博プロジェクトマネージャーは、市沿岸で行った漁業資源の震災影響調査や水産物の流通過程を追跡する実証実験などを紹介。地元の実業家などへの訪問活動がニーズを把握するためには欠かせないことなどを説明しました。
また、同大学大学院の堀本史恵さんは、久慈市の体験学習を事例に行った、若者層が魅力を感じる体験プログラムの検討を発表。観光客と地元の人々が交流しながら、同じ体験をするプログラムの充実が効果的だとまとめました。
参加した池田美咲さん(久慈高3年)は「いろいろな方面からの震災復興への取り組みなどが聞けて、ためになりました」と満足していました。

NEWS 全日本剣道選手権の覇者を講師に剣道講習会 夢は努力で必ずかなう



真剣に竹刀を振る講習会の参加者

8月24日、全日本剣道選手権大会の覇者で錬士六段の木和田大起さんを講師に迎え、剣道講習会が市民体育館で開催。日々練習に励む県内外の小・中学生剣士約230人が集まりました。
木和田さんは大阪府警の警察官。東日本大震災直後には被災地の支援活動に従事しました。また、市内の日本武道具製造が製作する小手を使用していることが縁で講習会は実現しました。
開会式では、市剣道協会の富山泰司会長が「緊張することなく、木和田選手の動作を余すところなく学んでほしい」と子どもたちを激励。木和田さんは「全国のチャンピ

オンになりたい」と35年間努力してきました。夢を追い続ける努力すれば必ずかないます。一緒に頑張らしましょう」と呼び掛けました。
講習会では、素振りや打ち込み、試合稽古などが行われ、子どもたちは、木和田さんが話す基礎練習時のポイントなどを聞き漏らさないように集中しながら実践していました。講習会を終え、上山大和さん(長内中2年)は「自分たちが普段意識していない細かい基礎の大切さを学びました。日本一の剣士の指導を受け、自分たちも1番を目指したいと思いました」とあこがれの剣士の指導に、目標を高く持ちました。



鋭い打ち込みを披露する木和田大起さん(左)